

社民・国民民主・護国クラブ 視察報告



（世田谷区）子ども・子育てつなぐプロジェクト

区内で子育て支援活動を行っている団体が、団体主体の交流を通して、参加団体皆で学び、情報交換を行うことで、自身の活動の一助とするのももちろん、他団体とのつながりを持つことで、地域での子育て支援活動が更に充実することをねらいとした取り組み。この一環として、年1回、「世田谷子育てメッセ」を開催してあった。

（柏市）市民にわかりやすい議会のための改革

平成22年12月議会から議場に採決システムを導入し、押しボタン式投票システムを使って行い、各議員の議案等に対する賛否をスクリーンに表示するとともに、質問・答弁をよりわかりやすくするためプロジェクター及び150インチスクリーン（議長席後ろ）、65インチモニター（議場両サイド）を設置し、パワーポイントや書画カメラによる補足資料の投影をできるよう設置した。また、議員間の自由討議や反問権の開始などの議会改革も進んでいた。大型スクリーンは質問の趣旨を説明し理解を得るために有効だと思った。

Facebook、Lineで詳しく報告しています

皆様からのご投稿、応援メッセージ募集中

ホットニュースを読んで頂ける方には

お届けします。お気軽にご連絡ください

その他の活動報告

1月

有明新報・新春年賀交歓会（ガーデンホテル）
建設業協同組合総会（新みなと）
おおむたししょうぼうでぞめしき
大牟田市消防出初式
障害者政治ネット足立大会
部落解放同盟旗開き
大牟田市庁舎本館の利活用を考えるシンポジウム
おおむたしぎかいぎいんけんしゅうかい
大牟田市議会議員研修会（北別館）
おおはしかつみけんぎかいぎいんしんしゅん
大橋克己県議会議員新春のつどい（ガーデン）
かいしはさつ
会派視察（世田谷区、千葉県柏市）



2月

身障連健康促進部茶道体験会（福祉センター）
松嶋盛人みやま市長との意見交換

いのちスケッチバリアフリー上映会（イオン）

地域福祉大会（文化会館）
福岡県知的障害者施設家族連合会（クローバー）
医療的ケア児・者ICT講座（久留米大学）
自治労福岡県本部障害労働連絡会学習会講師

2月議会

3月

3月議会／予算特別委員会

これからの活動予定

4月

新人研修講師

5月

憲法講演会

6月

6月議会

【後援会入会のご案内】

本会は古庄和秀の活動を支援し、誰もが安心して暮らせる大牟田市になるように取り組んでいます。ご賛同頂く方は入会下さい

年会費 1000円

連絡先：090-2517-4005

FAX：0944-85-0028

メール：furusho_net@hotmail.com

入会頂かなくてもニュースはお届けします。

【第2部：ふるしょう和秀の活動報告】

障害者政治ネット足立大会を開催！八代英太氏の講話を聴き、参議院議員とも意見交換



1月14日（火）～16日（木）の3日間、

障害者政治ネット足立大会を開催した。

14日は元衆議院議員、元郵政大臣、八代英太さんの講演を伺った。当時の選挙や当選後の議場のバリアフリー化など厳しい状況の体験談を直接伺える貴重な機会だった。昨年統一自治体選挙では複数の障害当事者議員が、参議院選挙では3人の車いすユーザーの障害当事者議員が誕生したが、それぞれの議員活動には様々な制約がある。政治ネットの交流を通して、課題解決と各自治体の障害福祉施策の更なる充実に取り組んでいきたい。

15日は新たに参議員に当選された3名のご本人、事務所の方含め、終日各自の活動や政策的な課題について意見交換をした。特に木村英子さんとは、ともに電動車いすに乗る当事者として、電動車いすの補助輪の角度、路線バスのスロープの角度など、具体的な課題を共有した。政策提言に役立てて頂くことを期待する。

16日は足立区の子どもの貧困施策について

視察。以前から先進的に取り組んであったが、昨年法律が改正され、市区町村が子どもの貧困対策計画を立てることが努力義務化されたことから視察が増えているとのこと。計画の立て方など、学ぶべき項目が多かった。

午後は、江崎孝参議のお取り計らいで義肢装具士ではない靴製造者が採型・適合した靴型装具の保険適用と障害福祉の補装具支給について厚生労働省と意見交換した。昨年、足の病気の治療や矯正をする靴型装具を巡り、一億円を超す医療保険の不正受給が明らかになったことにより、不正受給の牽制効果を狙った厚生労働省の通知の本来の趣旨がいくつかの自治体に理解されず、義肢装具士が採型・適合したものしか保険適用とならないとの見解が続いたため、昨年8月に続き話し合った。結論は出なかったが、江崎参議が継続して協議頂いている。担当職員が現状をご存じでなかったのが残念だった。



しんねんどよきん 新年度予算のポイント

	予算額	前年比	おくらん (億円)
一般会計	555	+0.5	
国民健康保険	144	-0.4	
介護保険	138	+0.3	
後期高齢者医療	21	-0.1	
病院事業債管理	10	-0.2	
(市立病院の改修工事などの特別会計)			
水道事業	44	+0.3	
公共下水道	84	-5.6	
合計	994	-1.6	

主な事業 ☆=新規事業 ★=内容拡充

★縁結び支援事業費 100万円

少子化対策として、出会いの場のイベントの企画・運営・情報発信とともに、結婚、妊娠、出産、子育て等について、自分自身のライフデザインを考えるセミナーを開催。

★妊婦歯科健康診査費 140万円

将来の子どもの口腔環境作りに影響を与える妊娠期に、歯科健診、指導教育を行う。

★病児・病後児保育事業費 944万円

小学校までの子どもが病気又は回復期にある際に、看護師や保育士が専用スペースで定期的に預かる病児・病後児保育事業を実施。

★おおむた・みらい・ESD推進事業費 250万円

国連大学が認定する「持続可能な開発のための教育に関する地域拠点(RCE)」として、世界のRCEと連携を図り、「SDGs/ESDのまち・おおむた」を発信するとともに、各学校が日頃から実践しているSDGs/ESDの取り組みを充実・発展させていく

★小中一貫校推進事業費 10万円

市内全小中学校に小中一貫校(原則併設型)の導入を検討するため、宮原中学校区をモデル校区として、課題の把握と対策の検討を行い、市民等への制度の周知啓発を行う。

★夜間中学の調査研究 5万円

様々な事情により学び直しを希望する人の「教育の機会の確保」を図るため、夜間中学制度の導入に向け、松原中学校において調査研究を行い、課題の把握と対策の検討並びに周知啓発を行う。

★学校照明LED化 2660万円

★高等教育機関等連携推進費 125万円

人口減少下における地域課題解決に資する調査等に係る学生等の活動費支援

★高校生まちづくり体験事業費 100万円

高校生総合発表会などの郷土愛につながるまちづくり体験事業支援

★公民館事業費 232万円

★次世代育成事業費 116万円

次世代を担う子どもを対象に、各地区公民館において様々な体験・交流事業、企画実践等を通して、郷土愛等をはぐむ取組み

★公民館ESD事業費 116万円

持続可能な地域づくりを推進するために、地域課題解決や地域の魅力発掘、地域人材育成等に取り組みとともに、市立学校でのESDに係る支援

★(仮称)総合体育館整備事業費 6800万円

基本計画に基づく基本設計を行い進める

★企業誘致費 2451万円

AI/ITなど情報関連企業や研究開発型企業に対する優遇制度の創設や宿泊施設の立地に向けた可能性調査

★三池港港湾施設改良事業負担金 5370万円

福岡県の北防砂堤の改良に加え、内港の岸壁や護岸の改良工事に対する地元負担分

★世界遺産ガイダンス施設整備事業費 5000万円

石炭産業科学館において、各構成資産の価値等を解説する展示施設の整備

→右の要望・指摘事項6をご覧ください。

★観光基本計画策定費 350万円

★観光推進組織補助 200万円

★地方創生ムービー活用事業費 300万円

小学校での「いのちスケッチ」上映会費用

★ウォーキング等健康づくり活動促進事業費 300万円

アプリの改修

★予防接種費 2億7272万円

10月からのロタウイルスワクチンの定期接種化

★大牟田市保健センター整備 1200万円

保健所跡を保健センターとするためバリアフリー化の設計費など

★フレイル予防関係費(※) 286万円

★生活困窮者自立支援事業費 3316万円

住居のない生活困窮者等に対し一定期間、宿泊場所を提供する一時生活支援事業を開始

★都市計画道路調査費 450万円

数十年前に計画された道路などの見直し

★市街化調整区域土地利用調査費 350万円

住宅の開発許可要件を緩和するために必要な調査や区域の検討

★公園照明LED化事業費 200万円

★緑の基本計画策定費 223万円

★道路照明LED化事業費 1億5000万円

★生活交通支援事業費 300万円

倉永校区の生活循環バスへの補助と三池校区での実証実験



★空家対策推進事業費 85万円

空家予防のセミナーやお知らせなど

★高泉公営住宅建設(Ⅲ期) 3億4834万円

旧住宅の解体費と新住宅の実施設計

★生活排水処理基本計画策定 200万円

★リサイクル分別回収経費 1305万円

プラスチック・機密文書の再資源化を開始

★新たなごみ処理施設整備計画費 165万円

★自転車等車両対策推進費 681万円

大牟田駅西口駐車場整備と放置自転車対策

★地域防災力強化事業 256万円

災害時危険個所地図作成と防災士の育成

★防災行政無線の更新 4億840万円

★筑後地域消防通信指令設備 1億1860万円

【予算特別委員会指摘・要望したこと】

- 4月から保健所を福岡県に返上し、保健指導などのために整備する保健センターは、母子保健から子育て世代包括支援センターを含めた子育て支援や相談機能を一体的に推進するため、総合窓口を設置してください。
- 臨時職員、嘱託職員に代わり4月から導入される会計年度任用職員については、勤務時間が開庁時間より短いことから、窓口などに来庁される市民に影響がないように、また正規職員の負担とならないように配慮してください。
- 訪問入浴介護サービスについては、医療的ケア児がふえる傾向にあることから、ぜひ18歳未満の障害児まで拡大してください。
- 段ボールベッドは災害時には協会から避難所へ配布される物資協定があり、福祉避難所にも適用できるとなっているが、事業者の費用面での負担とならないよう配慮してください。
- 大牟田駅西口整備の路面電車は、バリアフリー化は困難な状況であることから、電車付近にテーブルを置くなど高齢者等も楽しめるよう配り慮してください。
- 世界遺産ガイダンス施設整備事業(5000万円)については、経費削減に取り組むとともに、知的・発達障害者向けに新たな展示物を図形等で可視化し、視覚障害者向けには立体形で触ってわかるよう配慮されたい。
- 中心市街地活性化の空き店舗対策については、商業統計では小売売上額がここ20年横ばいで大型郊外店も増えたことから、小売業以外の文化的事業を取り組むことも検討して下さい。
- 介護保険の基準緩和型事業の訪問型サービスは、採算が厳しい状況にあることから、事業者と相談しながら進めてください。

(※)フレイルとは、加齢に伴い筋力が衰え、疲れやすくなり家に閉じこもりがちになるなど、年齢を重ねたことで生じやすい衰え全般を指す。関市長は、フレイル予防を公約にあげてあります。